

ベルリン2つの視線

日本演出者協会主催 国際演劇交流セミナードイツ特集2009

国際演劇交流セミナードイツ特集2009では、「子どものための劇場」を創設した巨匠フォルカー・ルートヴィヒ氏とドイツ国内外の現代戯曲を手がける若手演出家エンリコ・シュトルツェンブルク氏によるワークショップとレクチャー、シンポジウムを開催します。

2009年7月11日(土)ー7月21日(火)

【大阪会場】 精華小劇場/スタジオ 315 【東京会場】 ドイツ文化センター/芸能花伝舎

●——エンリコ・シュトルツェンブルクによるワークショップ

『教育劇「例外と原則」』

現代演劇のさらなる可能性を探る方法のひとつとして、ブレヒトの教育劇をテキストとし、エンリコ・シュトルツェンブルク氏によるワークショップを開催します。

ブレヒトの教育劇はアヴァンギャルドである。どのような形の楽しみを演劇が生み出すことができるのか、生み出すべきなのかという問いに対する緊迫した論争がそこにはある。ブレヒトの教育劇は教えることや、教えることが手段になった演劇とは何の関係もない。体験することが重要である。私にとって興味があるのは、観客と俳優がどのくらいともに歩む(参加する)意志があるかということだ。舞台と観客席の垣根を取り除くことが目的である。そうでなければつねに「こちら芸術、あちら観客」(私作る人、あなた見る人)という割り振りの中にずっと続けることになる…。

エンリコ・シュトルツェンブルク

- ・大阪 7月12日(日) 18:30～21:30 精華小劇場
13日(月) 18:30～21:30 スタジオ315
14日(火) 18:30～21:30 //
- ・東京 7月16日(木) 18:00～21:00 ドイツ文化センター
17日(金) 18:00～21:00 //
18日(土) 14:00～18:00 //

●——エンリコ・シュトルツェンブルクによるレクチャー I

『演出家が語る代表作『Kebab』について (作ジャーナ・カルプナリウ)』

エンリコ・シュトルツェンブルク氏が演出した『Kebab』やその他の作品を映像でご覧いただきながら、自らの演出方法や演劇論を語って頂きます。

- ・大阪 7月11日(土) 15:30～17:30 精華小劇場
- ・東京 7月18日(土) 19:00～21:00 ドイツ文化センター

●——フォルカー・ルートヴィヒによるレクチャー II + リーディング

『地下鉄1号線』

『「地下鉄1号線」とグリプス劇場』

フォルカー・ルートヴィヒ氏の代表作『地下鉄1号線』をリーディングと映像で紹介した後、「子どものための劇場」を掲げる自身の劇場と『地下鉄1号線』についてルートヴィヒ氏に語って頂きます。

- ・大阪 7月17日(金) 18:30～21:30 スタジオ315
- ・東京 7月20日(月) 18:00～21:00 芸能花伝舎

●——シンポジウム

『ドイツにおける青少年演劇』

「子どものまなざし」を通すことで、演劇の現場は「世界」をいかに見つめ直すのか。「世界」を初めて眺める子供たちの新鮮な目から、演劇現場は何を吸収するべきなのか。演劇は劇場で彼らに何を物語るべきなのか。また子どもたちは劇場において、何を発見し、いかにして「世界」に出会ってゆくのであるのか。演劇は彼らとどんな理想的な関係が結びうるのか。

ベルリンにてグリプス劇場を主宰し、青少年のための重要な作品を生み出している劇作家フォルカー・ルートヴィヒ氏をお招きし、シンポジウムを開催します。社会批判性の強いフォルカー氏の「考えさせる演劇」は、子どもにも大人にも「世界」についての疑問を喚起し続けています。

「子どもと演劇」における日独の現在について、またこれからの「可能性」について語り合います。

- ・大阪 7月18日(土) 19:00～21:00 スタジオ315
フォルカー・ルートヴィヒ 岩崎正裕(劇団太陽族) 松本則子(人形劇団クラルテ)
市川明(大阪大学/司会)
- ・東京 7月21日(火) 19:00～21:00 芸能花伝舎
フォルカー・ルートヴィヒ 別役実 丸本隆(早稲田大学/司会)